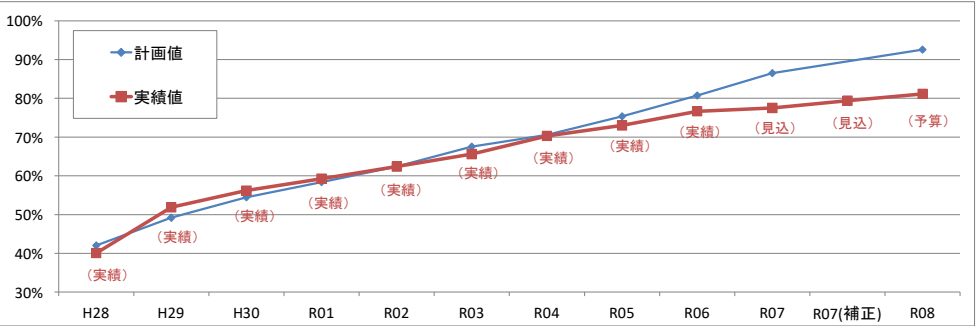


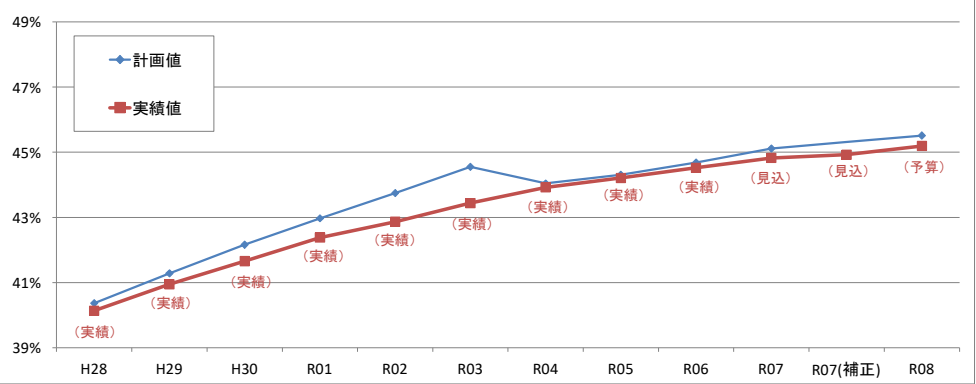
【水道事業】

①配水幹線の耐震化率



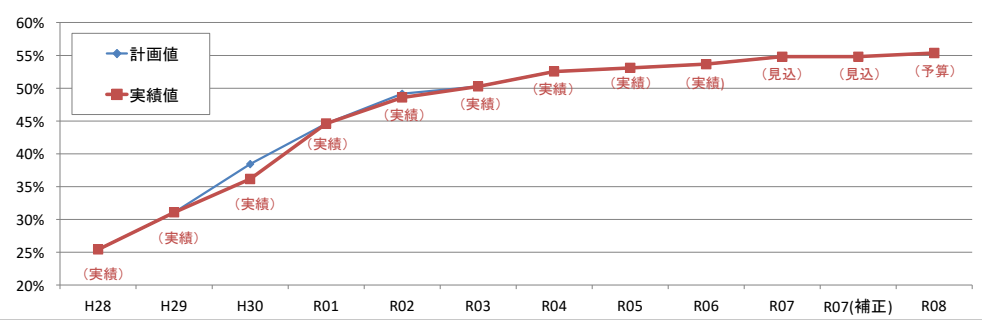
		H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R07(補正)	R08
第2次 中長期ビジョン	耐震管延長(km)	43.0	50.3	55.7	59.7	63.8	69.1	72.2	77.1	82.6	88.5		94.7
	全体延長(km)	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3		102.3
	耐震化率(%)	42.0%	49.2%	54.4%	58.4%	62.4%	67.5%	70.6%	75.4%	80.7%	86.5%		92.6%
実績及び実績見込	耐震管延長(km)	41.0	53.1	57.5	60.6	63.8	67.1	71.9	74.7	78.4	79.3	81.2	83.0
	全体延長(km)	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3
	耐震化率(%)	40.1%	51.9%	56.2%	59.2%	62.4%	65.6%	70.3%	73.0%	76.6%	77.5%	79.4%	81.1%
R8年度目標値に対する進捗率		43.3%	56.1%	60.7%	64.0%	67.4%	70.9%	75.9%	78.9%	82.8%	83.7%	85.7%	87.6%

②全水道管路の耐震化率



		H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R07(補正)	R08
第2次 中長期ビジョン	耐震管延長(km)	1,267.2	1,297.4	1,327.3	1,355.4	1,381.7	1,408.6	1,404.4	1,417.2	1,430.4	1,445.3		1,459.2
	全体延長(km)	3,139.4	3,142.9	3,148.2	3,154.2	3,158.4	3,161.8	3,196.2	3,198.7	3,201.1	3,203.7		3,206.2
	耐震化率(%)	40.4%	41.3%	42.2%	43.0%	43.7%	44.6%	44.0%	44.3%	44.7%	45.1%		45.5%
実績及び実績見込	耐震管延長(km)	1,261.6	1,294.8	1,320.8	1,347.7	1,366.9	1,387.1	1,406.1	1,417.8	1,431.3	1,443.0	1,446.2	1,455.4
	全体延長(km)	3,143.5	3,162.0	3,170.7	3,180.0	3,188.8	3,193.4	3,201.4	3,207.2	3,214.9	3,219.2	3,219.2	3,220.6
	耐震化率(%)	40.1%	40.9%	41.7%	42.4%	42.9%	43.4%	43.9%	44.2%	44.5%	44.8%	44.9%	45.2%
R8年度目標値に対する進捗率		88.2%	90.0%	91.5%	93.1%	94.2%	95.4%	96.5%	97.1%	97.8%	98.5%	98.7%	99.3%

③給水拠点整備達成率

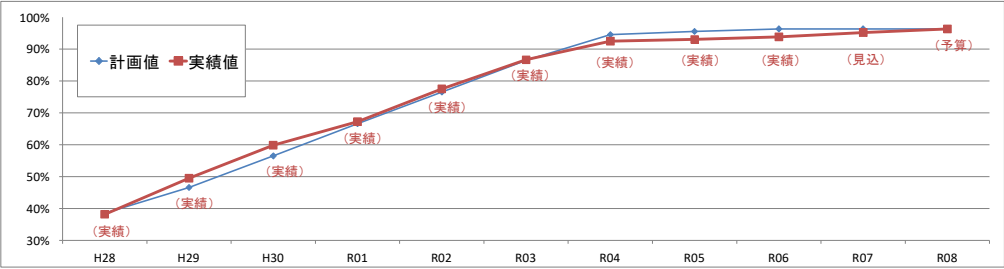


		H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R07(補正)	R08
第2次 中長期ビジョン	整備箇所数	45	55	68	79	87	89	93	94	95	97		98
	全体箇所数	177	177	177	177	177	177	177	177	177	177		177
	整備率	25.4%	31.1%	38.4%	44.6%	49.2%	50.3%	52.5%	53.1%	53.7%	54.8%		55.4%
実績及び実績見込	整備箇所数	45	55	64	79	86	89	93	94	95	97	97	98
	全体箇所数	177	177	177	177	177	177	177	177	177	177	177	177
	整備率	25.4%	31.1%	36.2%	44.6%	48.6%	50.3%	52.5%	53.1%	53.7%	54.8%	54.8%	55.4%
R8年度目標値に対する進捗率		45.9%	56.1%	65.3%	80.6%	87.8%	90.8%	94.9%	95.9%	96.9%	99.0%	99.0%	100.0%

第2次富山市上下水道事業 中長期ビジョン 計画事業の進捗状況

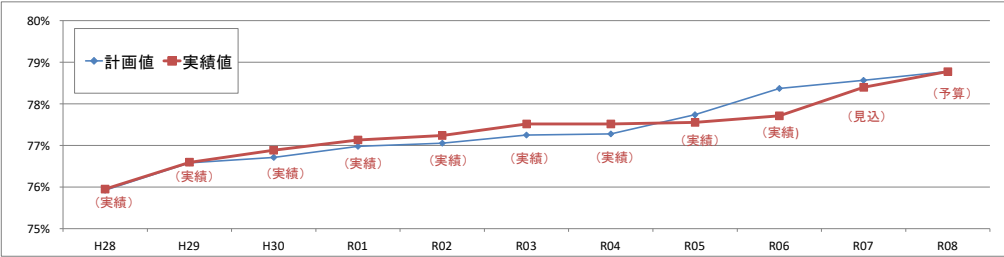
【下水道事業】

①老朽管対策を実施したコンクリート管の割合



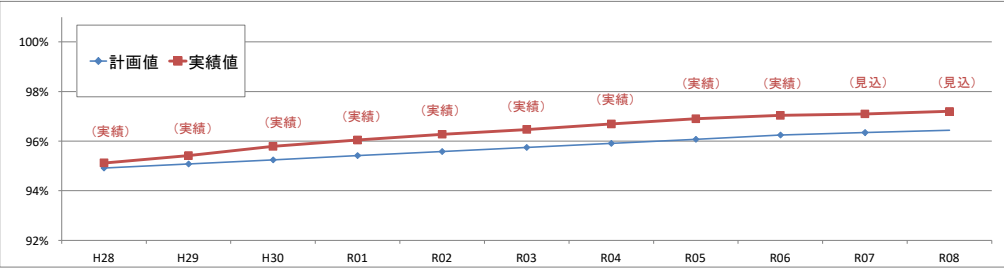
		H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08
第2次 中長期ビジョ ン	管内調査により 健全である延長(km)	185.2	221.2	266.2	311.2	356.2	401.2	437.2	437.2	437.2	437.2	437.2
	改築した延長(km)	9.1	14.1	19.1	25.1	30.1	35.1	40.1	45.1	49.1	49.1	49.1
	合計(km) ①+②	194.3	235.3	285.3	336.3	386.3	436.3	477.3	482.3	486.3	486.3	486.3
	全コンクリート管の延長 (km)	505.0	505.0	505.0	505.0	505.0	505.0	505.0	505.0	505.0	505.0	505.0
	老朽管対策を実施したコ ンクリート管の割合(%)	38.5%	46.6%	56.5%	66.6%	76.5%	86.4%	94.5%	95.5%	96.3%	96.3%	96.3%
実績及び実績 見込	管内調査により 健全である延長(km)	184.4	239.2	285.0	315.8	360.8	403.0	431.6	431.6	431.6	431.6	431.6
	改築した延長(km)	8.4	10.6	17.2	23.6	30.6	34.4	35.2	38.0	42.2	48.9	54.7
	合計(km) ①+②	192.8	249.8	302.2	339.4	391.4	437.4	466.8	469.6	473.8	480.5	486.3
	全コンクリート管の延長 (km)	505.0	505.0	505.0	505.0	505.0	505.0	505.0	505.0	505.0	505.0	505.0
	老朽管対策を実施したコ ンクリート管の割合(%)	38.2%	49.5%	59.8%	67.2%	77.5%	86.6%	92.4%	93.0%	93.8%	95.1%	96.3%
R8年度目標値に対する進捗率		39.6%	51.4%	62.1%	69.8%	80.5%	89.9%	96.0%	96.6%	97.4%	98.8%	100.0%

②大雨に対して安全である地区の面積の割合



		H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08
第2次 中長期ビジョ ン	大雨に対して安全である 地区の面積 (ha)	5,777	5,827	5,837	5,857	5,863	5,878	5,880	5,915	5,963	5,978	5,994
	全体面積 (ha)	7,609	7,609	7,609	7,609	7,609	7,609	7,609	7,609	7,609	7,609	7,609
	大雨に対して安全である 地区の面積の割合 (%)	75.9%	76.6%	76.7%	77.0%	77.1%	77.3%	77.3%	77.7%	78.4%	78.6%	78.8%
実績及び実績 見込	大雨に対して安全である 地区の面積 (ha)	5,779	5,828	5,850	5,869	5,877	5,898	5,898	5,901	5,913	5,965	5,994
	全体面積 (ha)	7,609	7,609	7,609	7,609	7,609	7,609	7,609	7,609	7,609	7,609	7,609
	大雨に対して安全である 地区の面積の割合 (%)	75.9%	76.6%	76.9%	77.1%	77.2%	77.5%	77.5%	77.6%	77.7%	78.4%	78.8%
R8年度目標値に対する進捗率		96.4%	97.2%	97.6%	97.9%	98.0%	98.4%	98.4%	98.4%	98.6%	99.5%	100.0%

③水洗化率



		H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08
第2次 中長期ビジョ ン	処理区域内人口 (人)	380,126	378,494	376,862	375,230	373,208	371,186	369,164	367,142	365,121	362,724	360,327
	水洗便所設置済人口 (人)	360,809	359,878	358,941	358,040	356,720	355,393	354,060	352,720	351,414	349,462	347,506
	水洗化率 (%)	94.9%	95.1%	95.2%	95.4%	95.6%	95.7%	95.9%	96.1%	96.2%	96.3%	96.4%
実績及び実績 見込	処理区域内人口 (人)	383,857	384,206	384,428	383,650	384,793	382,749	380,585	378,379	376,590	373,400	371,559
	水洗便所設置済人口 (人)	365,136	366,611	368,257	368,480	370,478	369,241	368,000	366,662	365,461	362,571	361,155
	水洗化率 (%)	95.1%	95.4%	95.8%	96.0%	96.3%	96.5%	96.7%	96.9%	97.0%	97.1%	97.2%
R8年度目標値に対する進捗率		98.6%	98.9%	99.3%	99.6%	99.8%	100.0%	100.3%	100.5%	100.6%	100.7%	100.8%

R7, R8の見込は、R6富山市将来人口推計報告書の行政人口から推定

第2次中長期ビジョンの状況(経営指標)

1 水道事業会計

(1)経営の健全性・効率性についての指標

(参考)

指標	解説	算定式	H27年度実績	R3年度実績	R6年度実績	R8年度見込値
1 経常収支比率	給水収益や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用が賄われているかをみる。 100%以上になっていることが必要。	$(\text{経常収益} \div \text{経常費用}) \times 100$	110.7%	107.9%	106.9%	(107.3%)
2 累積欠損金比率	営業収益に対する累積欠損金の状況を表す。 0%であることが必要。	$(\text{当年度未処理欠損金} \div (\text{営業収益} - \text{受託工事収益})) \times 100$	0.0%	0.0%	0.0%	—
3 流動比率	短期的な債務の企業の支払能力をみる。 100%以上であることが望ましい。	$(\text{流動資産} \div \text{流動負債}) \times 100$	184.3%	86.2%	91.7%	—
4 企業債残高対給水収益比率	給水収益に対する企業債残高の割合をみる。 明確な基準はないが、一般的に低い数値であることが望まれる。	$(\text{企業債現在高} \div \text{給水収益}) \times 100$	725.9%	656.1%	667.2%	(589.7%)
5 料金回収率	給水に要する費用が給水収益によりどの程度回収されているかをみる。 100%以上であることが望ましい。	$(\text{供給単価} \div \text{給水原価}) \times 100$	101.9%	99.8%	98.4%	(103.4%)
6 給水原価	有収水量1㎡あたりについて、どれだけの費用がかかるのかをみる。 明確な基準はないが、一般的に低い数値であることが望まれる。	$(\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{長期前受金戻入})) \div \text{年間総有収水量}$	127.0円	128.3円	131.2円	(150.3円)
7 施設利用率	施設の利用が有効かつ適切に行なわれているかをみる。 明確な基準はないが、一般的に高い数値であることが望まれる。	$(\text{1日平均配水量} \div \text{1日配水能力}) \times 100$	67.9%	67.5%	66.6%	—
8 有収率	浄水場から配水された水量のうち、料金として徴収される水量の割合をみる。 100%に近ければ近いほどよい。	$(\text{年間総有収水量} \div \text{年間総配水量}) \times 100$	90.4%	90.6%	88.7%	—

(2)資産(施設)の健全性についての指標

指標	解説	算定式	H27年度実績	R3年度実績	R6年度実績	R8年度見込値
1 有形固定資産減価償却率	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかをみる。 明確な基準はないが、一般的に低い数値であることが望まれる。	$(\text{有形固定資産減価償却累計額} \div \text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}) \times 100$	41.0%	49.3%	54.0%	—
2 管路経年化率	法定耐用年数を超えた管路延長の割合をみる。 明確な基準はないが、一般的に低い数値であることが望まれる。	$(\text{法定耐用年数を経過した管路延長} \div \text{管路延長}) \times 100$	7.8%	18.1%	22.4%	(25.3%)
3 管路更新率	当該年度に更新した管路延長の割合をみる。 明確な基準はないが、一般的に高い数値であることが望まれる。	$(\text{当該年度に更新した管路延長} \div \text{管路延長}) \times 100$	0.9%	0.4%	0.2%	(0.3%)

※R8年度見込値は、R8.1現在の推計値

2 公共下水道事業会計

(1) 経営の健全性・効率性についての指標

(参 考)

指標	解説	算定式	H27年度 実績	R3年度 実績	R6年度 実績	R8年度 見込値
1 経常収支比率	料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用が賄われているかをみる。 100%以上であることが望ましい。	$(\text{経常収益} \div \text{経常費用}) \times 100$	112.9%	115.5%	108.9%	(109.4%)
2 累積欠損金比率	営業収益に対する累積欠損金の状況を表す。 0%であることが必要。	$(\text{当年度未処理欠損金} \div (\text{営業収益} - \text{受託工事収益})) \times 100$	0.0%	0.0%	0.0%	—
3 流動比率	短期的な債務の企業の支払能力をみる。 100%以上であることが望ましい。	$(\text{流動資産} \div \text{流動負債}) \times 100$	30.1%	36.6%	53.2%	—
4 企業債残高対事業規模比率	料金収入に対する企業債残高の割合をみる。 明確な基準はないが、一般的に低い数値であることが望まれる。	$((\text{企業債現在高} - \text{一般会計負担額}) \div (\text{営業収益} - \text{受託工事収益} - \text{雨水処理負担金})) \times 100$	862.0%	593.7%	516.6%	(395.1%)
5 経費回収率	汚水処理に要した費用に対し、どの程度使用料で賄われているのかをみる。 100%以上であることが望ましい。	$(\text{下水道使用料} \div \text{汚水処理費(公費負担分を除く)}) \times 100$	115.3%	98.8%	98.9%	(96.7%)
6 汚水処理原価	有収水量1㎡あたりについて、どれだけ汚水処理に要した費用がかかるのかをみる。 明確な基準はないが、一般的に低い数値であることが望まれる。	$(\text{汚水処理費(公費負担分を除く)} \div \text{年間総有収水量}) \times 100$	157.8円	181.3円	182.8円	(210.6円)
7 施設利用率	施設の利用が有効かつ適切に行なわれているかをみる。 明確な基準はないが、一般的に高い数値であることが望まれる。	$(\text{晴天時1日平均処理水量} \div \text{晴天時現在処理能力}) \times 100$	35.1%	63.6%	66.4%	—
8 水洗化率	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理人口の割合をみる。 100%に近ければ近いほどよい。	$(\text{現在水洗便所設置済人口} \div \text{現在処理区域人口}) \times 100$	94.7%	96.5%	97.0%	—

(2) 資産(施設)の健全性についての指標

指標	解説	算定式	H27年度 実績	R3年度 実績	R6年度 実績	R8年度 見込値
1 有形固定資産減価償却率	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかをみる。 明確な基準はないが、一般的に低い数値であることが望まれる。	$(\text{有形固定資産減価償却累計額} \div \text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}) \times 100$	32.4%	41.9%	47.2%	—
2 管渠老朽化率	法定耐用年数を超えた管渠延長の割合をみる。 明確な基準はないが、一般的に低い数値であることが望まれる。	$(\text{法定耐用年数を経過した管渠延長} \div \text{下水道布設延長}) \times 100$	2.4%	5.3%	6.9%	(7.8%)
3 管渠改善率	当該年度に改善した管渠延長の割合をみる。 明確な基準はないが、一般的に高い数値であることが望まれる。	$(\text{改善(更新・改良・維持)管渠延長} \div \text{下水道布設延長}) \times 100$	1.0%	1.8%	1.5%	(1.9%)

※R8年度見込値は、R8.1現在の推計値

3 工業用水道事業会計

(1) 経営の健全性・効率性についての指標

(参考)

指標	解説	算定式	H27年度 実績	R3年度 実績	R6年度 実績	R8年度 見込値
1 経常収支比率	給水収益や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用が賄われているかをみる。 100%以上になっていることが必要。	$(\text{経常収益} \div \text{経常費用}) \times 100$	153.2%	138.7%	151.8%	(153.6%)
2 累積欠損金比率	営業収益に対する累積欠損金の状況を表す。 0%であることが必要。	$(\text{当年度未処理欠損金} \div (\text{営業収益} - \text{受託工事収益})) \times 100$	0.0%	0.0%	0.0%	—
3 流動比率	短期的な債務の企業の支払能力をみる。 100%以上であることが望ましい。	$(\text{流動資産} \div \text{流動負債}) \times 100$	1448.6%	1632.4%	3843.2%	—
4 企業債残高対給水収益比率	給水収益に対する企業債残高の割合をみる。 明確な基準はないが、一般的に低い数値であることが望まれる。	$(\text{企業債現在高} \div \text{給水収益}) \times 100$	292.7%	102.2%	46.6%	(33.1%)
5 料金回収率	給水に要する費用が給水収益によりどの程度回収されているかをみる。 100%以上であることが望ましい。	$(\text{供給単価} \div \text{給水原価}) \times 100$	157.8%	142.0%	156.0%	(155.5%)
6 給水原価	有収水量1㎡あたりについて、どれだけの費用がかかるのかをみる。 明確な基準はないが、一般的に低い数値であることが望まれる。	$(\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{長期前受金戻入})) \div \text{年間総有収水量}$	11.4円	9.2円	8.4円	(8.3円)
7 施設利用率	施設の利用が有効かつ適切に行なわれているかをみる。 明確な基準はないが、一般的に高い数値であることが望まれる。	$(\text{1日平均配水量} \div \text{1日配水能力}) \times 100$	70.2%	70.9%	70.5%	—
8 有収率	浄水場から配水された水量のうち、料金として徴収される水量の割合をみる。 100%に近ければ近いほどよい。	$(\text{年間総有収水量} \div \text{年間総配水量}) \times 100$	99.4%	98.7%	97.4%	—

(2) 資産(施設)の健全性についての指標

指標	解説	算定式	H27年度 実績	R3年度 実績	R6年度 実績	R8年度 見込値
1 有形固定資産減価償却率	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかをみる。 明確な基準はないが、一般的に低い数値であることが望まれる。	$(\text{有形固定資産減価償却累計額} \div \text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}) \times 100$	54.2%	64.3%	64.3%	—
2 管路経年化率	法定耐用年数を超えた管路延長の割合をみる。 明確な基準はないが、一般的に低い数値であることが望まれる。	$(\text{法定耐用年数を経過した管路延長} \div \text{管路延長}) \times 100$	39.6%	39.7%	52.5%	(53.9%)
3 管路更新率	当該年度に更新した管路延長の割合をみる。 明確な基準はないが、一般的に高い数値であることが望まれる。	$(\text{当該年度に更新した管路延長} \div \text{管路延長}) \times 100$	0.0%	0.0%	0.0%	(0.1%)

※R8年度見込値は、R8.1現在の推計値